

東京のアートシーンを世界に発信する政策展開

東京都の文化施策の概況（予算・施策）

都の文化施策のあゆみ（直近10年間）

- 2013～2021 東京2020大会に向けた文化プログラム ⇒ 約16万件のプログラム、約3,900万人の参加
- 2020～2021 コロナ禍での芸術文化支援事業「アートにエールを！」 ⇒ 2万人以上を支援
- 2022.3 東京文化戦略2030策定 ⇒ 『芸術文化で躍動する都市東京』を目指して取組を加速

国と都の文化関連予算

国（文化庁）の予算は横ばい

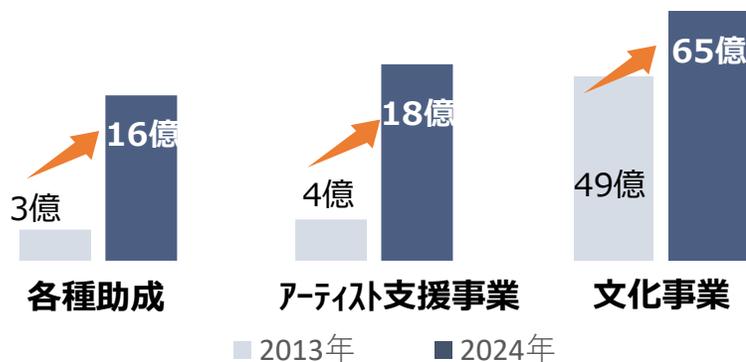


都の予算は10年で1.5倍に

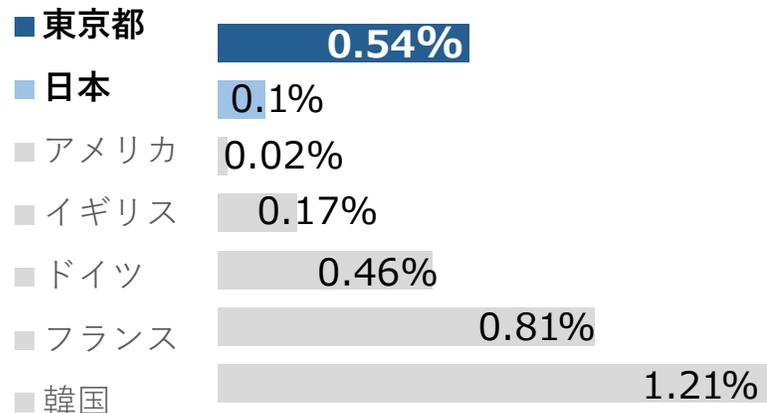


- ※ 国の予算の約4割は文化財関連予算
- ※ 都の予算は文化財関連、施設管理・改修経費を除く
- ※ 国と都の当初予算ベースでの対比

施策別の都予算推移



政府予算に占める文化予算の割合



(令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業の成果報告書)

東京文化戦略2030策定以降の主な新規施策

各種助成

スタートアップ助成
1億

魅力創出助成
5.7億

ライブ・ステージ応援助成
3.5億

アーティスト支援

創作環境の整備



START Box事業

総合相談窓口



アートノト

文化事業

現代アート振興



まちなかアート（工事仮囲い活用など）

① 今年度から新たに展開する都の主要文化イベント

ベイエリアでの国際芸術祭

- 社会に潜む問題の提起や新たな視点をもたらす現代アートは、対話の促進や創造性の源泉となり、その振興は都市の成長に不可欠
- そのため、アート領域におけるグローバルな文脈形成や評価に関与することができる国際芸術祭「東京お台場トリエンナーレ2025」を開催
- 最先端のアートを東京から世界に発信し、国内外の多くの人を魅了するとともに、誰もが多様なアートに親しむ機会を東京にもたらす、水辺とまちと人が調和した「国際芸術祭」を目指す

全体イメージ

2024

■ SusHi Tech Tokyo2024
(4/27~5/26)

○ **プレスリリース** (5月15日)

※トリエンナーレの開催
(名称、時期、場所等) を公表

○ **国際芸術祭プレイベント**

2025

■ **世界陸上**
(9/13~9/21)

■ **デフリンピック**
(11/15~11/26)

■ **文化プログラム**

・ 伝統文化 (まつり等)
鑑賞・体験 (9月)

・ 聴者とうろう者の舞台創作
・ パラレガシー企画公演 (11月)



○ **国際芸術祭 本祭**

会場候補：都立公園、日本科学未来館

民間施設 等

開催期間：10月~12月 (3か月間程度)

世界を牽引する未来の都市像を、アートを通じて世界に示すことで
創造性と多様性に満ちた『芸術文化で躍動する都市東京』を実現

世界陸上・デフリンピックに向けた文化プログラム

事業概要

2025年秋開催の両大会を盛り上げるため、3つのアートプロジェクトと芸術文化へのアクセシビリティ向上を展開

取組1 多様な参加者をつどい・つながり・つくりあげる3つのアートプロジェクト

2025年11月デフリンピックに向けて

■ ろう者と聴者の協働による舞台創作

- ☑ 「ろう者にとっての音楽」をテーマに新作
- ☑ 協働プロセスの記録を公開

■ 東京2020大会のレガシーを継承・発展させた新作公演

- ☑ パラ開会式のキャスト・スタッフが再集結
- ☑ 共生社会への思いを舞台化

2025年9月世界陸上に向けて

■ 伝統文化（まつり等）の鑑賞体験イベント

- ☑ さまざまなまつり団体が出演
- ☑ 見どころを凝縮したパフォーマンスで一体感創出



アートプロジェクトのイメージ

取組2 誰もが楽しめる芸術文化へのアクセシビリティ向上

■ 都立文化施設や都文化事業の環境整備

- ☑ 都立文化施設や都文化事業において、鑑賞や参加を豊かにするためのツール導入・情報保障付プログラムを拡充
- ☑ 芸術文化分野の手話通訳を育成するための研修などを実施



触察模型



QDレーザ



手話による鑑賞ツアー

■ 民間団体への鑑賞サポート助成（新設）

- ☑ 芸術文化事業を実施する民間団体等によるアクセシビリティ向上を目的とした取組に対して150万円を上限に全額助成
- ☑ 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」と連携し、鑑賞サポート講座や専門家による相談体制を提供

東京の持つ芸術文化の魅力発信や共生社会の実現に向けた歩みを進める

プロモーション事業「Art Autumn Tokyo 2025」

- 世界陸上・デフリンピックの開催時期をとらえ、**2025年9月～12月の間**、都内で開催される芸術文化イベントをギャザリングし、「Art Autumn Tokyo 2025」の冠のもと、国内外にプロモーションを行う。
- 都が共催する大きなイベント（トリエンナーレ、六本木アートナイト、文化プログラム（アートプロジェクト））をコアイベントとして位置づけ、同時期に都内で開催される様々な芸術文化イベントの参画を募り、**国内外からワンストップでチケットや情報にアクセス可能となるサイトを構築**
- ターゲット層に応じて、グッズや飲食のタイアップのほか、伝統芸能体験などのアクティビティや周遊ツアーを企画し、インバウンド獲得を狙う

〈東京のアートシーン〉



©六本木アートナイト実行委員会

トリエンナーレ
六本木アートナイト
東京芸術祭
デフ文化プログラム



- ・鑑賞サポート
- ・アクティビティ

チケット/情報
サイト
イベントにワンストップ
でアクセス可能に

- ・WEBサイト
- ・プログラム冊子

世界中の人々を
芸術文化で魅了する
都市東京の実現

▶ 「Art Autumn Tokyo 2025」による効果的かつ集中的なプロモーションを展開

② 子供を対象にした新たな文化施策

事業趣旨

興味や経験など「個人」に合わせた取組が子供の個性や多様性を引き出す上で極めて重要

- ▶ 興味関心のある分野への学びや理解をさらに深める芸術文化体験を提供

(プログラムイメージ)

学校における芸術文化活動

- ・初めて芸術文化に触れる機会
- ・みんなが平等に参加可能
- ・芸術文化の裾野拡大、入口

学校外における芸術文化体験

- ・より深く、高いレベルで学び、体験が可能
- ・一流のプロフェッショナルを指導者に迎え、良質なプログラムを提供可能

子供たちの
豊かな未来

事業ラインナップ

- **キッズユースオープンキャンパス**【東京藝術大学、多摩美術大学】
都内の芸術系大学と連携し、子供向けオープンキャンパスを実施（対象：小学生～）
- **ファッションショー&バックヤード体験プロジェクト/ファッションアカデミー**
【協力：(株)ヒロココシノ、文化服装学院】
子供とプロと一緒に作り上げるファッションショーを実施（対象：小学生～）
- **チームアップ! オペラ『トスカ』**【東京文化会館】
総合芸術であるオペラ等の体験機会を多摩地域で提供（対象：小学生～）
- **中高生のためのクリエイティブCAMP 2024**【東京芸術劇場】
中高生がプロのアーティスト、クリエイターと協働し、ダンス作品を創作（対象：中学生～）



▶ 様々な領域の芸術文化体験を通じ子供たちの未来や生活をより豊かなものとしていく

③ 都立文化施設の魅力向上に向けて

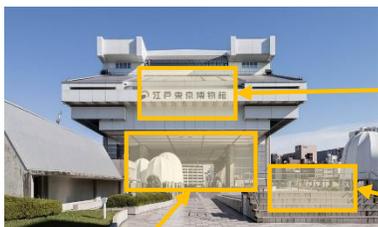
江戸東京博物館の魅力向上策とリニューアルの期待感を高める取組

江戸東京博物館の目指す姿

○江戸博が東京の「アイコン」となり、都民や国内外からの観光客が必ず訪れたくなる博物館へ

施設自体の魅力向上

- 重松象平氏によるデザイン監修のもと、魅力向上策を推進（R6年度は設計着手）
- 入館前から展示への期待感を持てるような仕掛けや、デジタルを活用した演出等



常設展示室



3階ひろば



アプローチ

休館期間を生かした期待感醸成等の取組

- リニューアルオープンに向け、江戸の魅力や江戸博をより知っていただくため、**収蔵品を生かし**様々な取組を展開

主な取組

- ・ 出張展覧会
- ・ 都民(在住外国人)参加型企画
- ・ ハイパー江戸博
- ・ 海外向けプロモーション強化



すし屋台復元模型



連携

都庁内各局が連携し、江戸の歴史・文化を世界的に価値ある遺産として発掘・発信する取組を推進 ※「未来の東京」戦略 version up 2024に基づく取組

国内外に江戸の歴史と文化を発信する東京の中核的施設として、リニューアルオープンに向けて施設の魅力と存在感を高める取組を推進

東京都庭園美術館グランドデザイン

- 館全体の一体感を醸成しその魅力の向上に向けた方向性を示すため「グランドデザイン」をR6年3月に策定

庭園美術館の目指す姿

誰にでも開かれた美術館

- 3つの方向性

方向性1
貴重な
文化財建築の
更なる活用

公開エリアの拡大

取組例

策定中の保存活用計画を踏まえ、
必要な補修を行い公開エリア拡大

ユニークベニユー
の利用拡大

取組例

利用範囲やメニューを見直し
(R5年度実施済み)



第一弾イベント
(4/19開催)の様子

方向性2
「邸宅」と
「庭園」の
回遊性の向上

回遊性向上と
庭園利用の活性化

取組例

天候による庭園利用の制限を緩和する
東屋・設備を整備

取組例

建物と庭園をつなぐ出入口の増設等を実施



東屋のイメージ

方向性3
訪れたく
なる仕掛け

気軽に立ち寄れる
仕掛け

取組例

正門エントランス周辺施設や
テラス席等を整備

インバウンド客誘致

取組例

日本庭園や茶室などを
インバウンド客へ訴求



日本庭園・茶室イメージ

▶ グランドデザインに基づく取組を着実に推進し、館のポテンシャルを最大限向上